

井上さつき教授退職記念最終講義 開催報告

七條めぐみ 愛知県立芸術大学音楽学部非常勤講師（音楽学）

2022年2月19日（土）、井上さつき教授の定年退職を記念して最終講義が開催された。この催しは、音楽学コース卒業生・修了生の有志による実行委員会が中心となり、およそ1年前から準備を進めてきた。本稿では、実行委員会の幹事としての立場から、開催概要と当日までの経緯、開催を終えての所感をまとめる。なお、文中では「井上教授」ではなく「井上先生」と表記させていただくこと、ご海容いただきたい。

1. 開催概要

日時 2022年2月19日（土）14:00～16:00

会場 愛知県立芸術大学新講義棟大講義室（Zoomによるリアルタイム配信とのハイブリッド開催）

主催 愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻音楽学コース

参加者 会場 25名（本学在学学生、専任教員、職員）

オンライン 83名（上記に加え、本学卒業生、非常勤講師、一般参加を含む）

プログラム

第1部 レクチャー「近代フランス音楽／万博／楽器～私の研究遍歴」

演奏（鈴木政吉作 1929年製手工ヴァイオリンを使用）

ヘンデル：ヴァイオリン・ソナタ第4番 ニ長調 作品1-13(HWV371)

牧野葵（ヴァイオリン）、大崎奈々（ピアノ）

第2部 レクチャー「楽器大国ニッポンの基礎ができるまで

～鈴木政吉と山葉寅楠」

2. 当日までの経緯

井上先生のご退職を見据えて、2019年、最終講義の開催と論集の出版という2つの記念事業の構想が持ち上がった。先に動き出したのは、論集の出版で

ある。こちらは、森本頼子さんが中心となり、2020年1月頃から原稿の集約とチェックを進め、2022年1月、井上先生と愛知県立芸術大学で学んだ音楽研究者7名による論集『音楽と越境』として、音楽之友社から刊行された¹。一方、最終講義の具体的な準備が始まったのは、2021年の夏頃である。当初は「レクチャーコンサート」と銘打っており、愛知県立芸術大学室内楽ホールでの開催を想定していた。しかし、井上先生との打ち合わせを通じて、演奏よりもレクチャーが中心であること、会場開催だけでなくZoomによるリアルタイム配信も行うことなどを考慮し、「最終講義」として新講義棟大講義室で開催することに決定した。

このイベントにおいて最も難しい問題となったのが、会場開催の規模である。新講義棟大講義室は、コロナ禍における収容人数の上限が128名に定められている。これを受け、最終講義実行委員会では来場定員を50名に制限し、学内者と音楽学コースの卒業生・修了生、博士後期課程修了生、音楽学コース管轄科目担当の非常勤講師、井上先生の関係者に招待をお送りし、申込のあった人のみが来場可能とした。しかし、オミクロン株の流行による感染状況の悪化を受け、2022年2月初旬、来場者を学内者（在學生、専任教員、職員）に再限定することとした。開催直前の方針変更となったことで、来場申込のあった方にオンライン参加への切替をお願いしなければならなかったが、幸い申込者の方々にはご理解いただき、また安全にご参加いただくことが可能となった。

まさに「コロナ禍」ならではの最終講義となったが、その準備・運営には多くの知恵とマンパワーが集まった。以下に、実行委員会のメンバーと主な役割分担を記載する。

全体統括	七條めぐみ
会場運営	高山葉子（本学非常勤講師）
受付・申込管理	森本頼子（音楽学コース修了生）
機材統括	安野太郎（本学准教授）
Zoom管理	深堀彩香（本学非常勤講師）、山本宗由（音楽学コース在學生）、村瀬優花（音楽学コース在學生）
録音・音声配信	平田耕一（本学職員）
録画	成本理香（本学准教授）、犬飼裕哉（本学修了生）
チラシデザイン	加藤希央（音楽学コース修了生）
プレゼント手配	黄木千寿子（本学非常勤講師）
受付	棚山陽子（音楽学コース修了生）、山口真季子（本学非常勤講師）

この他にも、構想から当日の運営に至るまで、多くの方々に関わっていただいた。こうした準備は、各々が本来の仕事をしながら行っていたため、一時は多忙を極めることもあった。それでも、「これまでお世話になった井上先生のご退職を盛り上げたい！」という意志のもと、実行委員会として非常に高いパフォーマンスを発揮することができたと感じる。

3. 開催を終えて

最終講義当日は、あいにくの寒波・雨天だったが、井上先生の活気あふれる講義と、鈴木政吉ヴァイオリンの温かな音色に彩られ、会場は明るい雰囲気満ちていた。それはオンラインにおいても同様だったようで、文字通りの「リアルタイム」配信として、画面越しに最終講義を楽しんでいる様子を感じ取れた。実行委員会では、イベントの最中と終了後に、すべての参加者に向けてオンラインのコメントフォームを案内し、最終講義の感想や井上先生へのメッセージを送っていただけするようにした。これまでに、実行委員会が承知している分だけで、のべ50件のコメントが寄せられており、そのどれもが井上先生の門出をお祝いし、先生の教えを思い返す温かな内容となっている。これらのコメントを目の当たりにして、筆者はあらためて井上先生の研究者としてのバイタリティと、教育者としての魅力あふれるお人柄に触れることができた。出会った人々の心を動かし、物事を前進させる力——勝手ながら、井上先生の「すごさ」はそうした部分にあるのではないかと愚考する。

なお、最終講義の様子は録画し、後日 YouTube 上で配信する予定である。準備が整い次第、参加者・関係者にお知らせする。

注

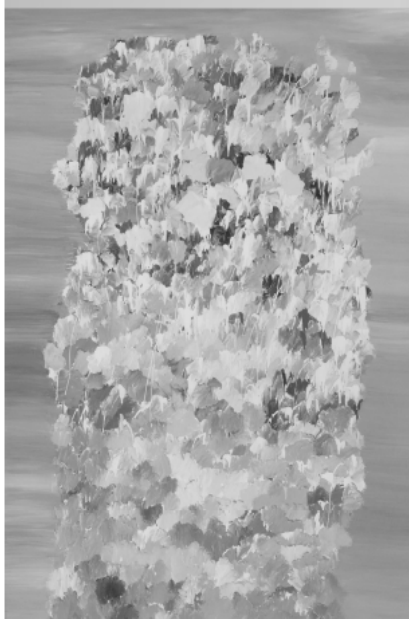
¹ 執筆者や各章のタイトル等、本書の詳細については音楽之友社 HP を参照されたい。(URL: <https://www.ongakunotomo.co.jp/catalog/detail.php?id=139110>)

井上さつき教授退職記念 最終講義

近代フランス音楽／万博／楽器 ～ 私の研究遍歴



主催 愛知県立芸術大学音楽学部 作曲専攻音楽学コース



小林英樹（大自然に抱かれて）1988年
162cm×112cm、麻布キャンバスに合成樹脂指輪具

2022年2月19日(土)
14:00～16:00
(13:30開場)
愛知県立芸術大学
新講義棟大講義室
(会場・オンラインの両方によるハイブリッド開催)

● 鈴木政吉作 1929年製手工ヴァイオリン
(本学所蔵)の演奏がごあります。

ヴァイオリン：牧野葵 ピアノ：大崎奈々

- ▷ 会場・オンライン参加のいずれかを選択いただけます。いずれの場合も、事前申込が必要です。会場参加は定員となり次第、締切とさせていただきます。
- ▷ 申込締切：2022年2月12日(土)17時
URLまたはQRコードから専用フォームにアクセスし、必要事項をご記入のうえ送信してください。
<https://forms.gle/ih8RdWnSR8TisSfTA>



- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、会場でご参加の方は必ずマスクをご着用ください。マスクのご用意はご自身でお願ひいたします。
- ・換気のため窓を開けます。暖かくしてご来場ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、開催方法および内容等に変更が生じたり、中止となる場合がございます。

- ▷ お問い合わせ：井上さつき教授最終講義実行委員会
finallecture.aua.2022@gmail.com

【会場への交通アクセス】

名古屋市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘線（リニモ）に乗り換え「栄大通」駅下車、徒歩約10分。

もしくは地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約15分。

アクセス詳細：<https://www.aichi-u.ac.jp/guide/guide04/guide04-01.html>

最終講義のチラシ（表）

井上さつき(いのうえさつき)教授 プロフィール

愛知県立芸術大学音楽学部教授。東京藝術大学音楽学部楽理科、同大学大学院音楽研究科修士課程を経て、博士課程満期退学。論文博士(音楽学)。パリ・ソルボンヌ大学修士課程修了。慶應義塾大学、東京藝術大学、明治学院大学などで非常勤講師をつとめる。

専門：近代フランス音楽史、万国博覧会史、日本の洋楽器受容史。

主な著書：『パリ万博音楽案内』(音楽之友社、1998)、『音楽を展示するーパリ万博 1855-1900』(法政大学出版局、2009)、『フランス音楽史』(共著、春秋社、2010)、『日本のヴァイオリン王ー鈴木政吉の生涯と幻の名器』(中央公論新社、2014)、『ラヴェル 作曲家・人と作品シリーズ』(音楽之友社、2019)、『ピアノの近代史ー技術革新、世界市場、日本の発展』(中央公論新社、2020)、『万博学ー万国博覧会という、世界を把握する方法』(共著、思文閣出版、2020)。

主な訳書：アービー・オレンシュタイン『ラヴェル 生涯と作品』(音楽之友社、2006)。



牧野葵(まきのあおい・ヴァイオリン)

愛知県立芸術大学を首席卒業。同大学院博士前期課程を首席修了。
現在、東海地方を中心にソロ、オーケストラの客演演奏活動、ジュニアオーケストラの指導等に当たる。



大崎奈々(おおさきなな・ピアノ)

愛知県立芸術大学卒業。同大学院博士前期課程修了。現在ソロ、器楽伴奏、室内楽、新曲初演など幅広い分野で活動する傍ら、マルチ楽器音楽教室、三井アーツ音楽教室にて後進の指導にも当たる。

退職記念論集『音楽と越境』音楽之友社より発売！

井上さつき監修、森本頼子編著『音楽と越境——8つの視点が拓く音楽研究の地平』

定価2,970円(税込) 2022年1月下旬 音楽之友社刊

井上教授と、教授のもと愛知県立芸術大学で学んだ気鋭の音楽研究者7名による音楽論集です。井上教授の最新の研究成果(第3章「楽器と関税」)も収録されています。書籍の詳しい内容については、書籍紹介のチラシまたは音楽之友社のHPをご覧ください。全国の書店・楽器店・ネット書店などでお買い求めいただけます。

また、最終講義の会場では、割引価格の2,400円(税込)で販売します。

最終講義の参加申込フォームからご予約ください。

ぜひこの機会にお買い求めください！

▶ 音楽之友社 書籍紹介ページ

<https://www.ongakunotomo.co.jp/catalog/detail.php?id=139110>



▶ 書籍に関するお問合せ：『音楽と越境』編集委員会 editorronsyuu2022@gmail.com

チラシ制作：加藤希央

最終講義のチラシ(裏)



レクチャーをする井上先生



鈴木政吉ヴァイオリンの演奏